

第2回 金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	平成27年3月19日(木) 13時00分～17時10分
開催場所	金沢区役所中庭2号会議室
出席者	選定委員：影山委員、新明委員、臺委員、長瀬委員、山岸委員、山中委員、渡辺委員 オブザーバー：吉田氏(財務有識者) 事務局：川崎福祉保健センター担当部長、倉持福祉保健課長、塩田高齢・障害支援課長、小松高齢者支援担当係長、石井事業企画担当係長、江口事業企画担当職員、櫻井事業企画担当職員
欠席者	なし
開催形態	公開 ※審査については非公開。
	<p>1 開会</p> <p>事務局より連絡事項</p> <p>倉持福祉保健課長より、次のとおり説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員7名中、7名出席で過半数を超えているため、委員会は成立していることを報告した。 ・応募法人の財務の健全性に疑問のある法人はなかったが、応募の締切から選定委員会までの期間が短かったため、予め財務の有識者に出席を依頼した。 ・今回の議事録署名人は臺委員と長瀬委員に依頼し了承された。 ・傍聴人の申込みはなかったことを報告した。 <p>2 審査方法について</p> <p>石井事業企画担当係長より次のとおり説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採点方法について <p>横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者公募要項に基づき、各評価項目5段階で採点する。</p> <p>評価基準7「前期の指定管理者の実績」については、事前に配布した過去3年間の事業実績評価の結果に基づき、事前に事務局側で点数を記入した。</p> <p>事前に仮の採点をしていただいていると思うが、今日のプレゼンテーション及び、質疑を経て、最終的な採点をしていただきたい。各委員の採点結果を合計して委員会の結果とする。最低基準に満たない場合は再公募となる。</p> <p>3 財務状況について</p> <p>石井事業企画担当係長より、次のとおり説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募法人から提出された財務関係書類を健康福祉局の統一基準で評価した結果を本日記らせて頂いた。評価はA「特に問題はない」、B「経営上の課題はあるが当面は問題はない」、C「経営上重大な課題がある」の3段階で行われた。

評価指標は7つの指標に基づき分析した。①流動比率は、支払能力を測る指標で、短期的な安全性を判定する指標である。②純資産比率は、経営に使える資金力を図る指標で、長期的な安全性を判定する指標である。③固定長期適合率は、固定資産のうちどの程度が自己資金と長期借入で賄われているかを示す指標で法人の安全性、財務体質の健全性を判定する指標である。④経常増減差額率は、一般企業でいえば経常利益に相当するもので、収益性を判定する指標である。⑤サービス活動収益対借入金比率は、サービス活動収益に対する運営資金借入の占める割合のことで、借入金の負担率を評価する指標である。⑥委託費率は、経常的な収益に対する委託費の指標である。⑦人件費率は、経常的な収益に対する人権費の割合の指標である。

今回、審査を行う4法人の中で、神奈川県済生会を除いて全てAの評価だった。神奈川県済生会は「純資産比率」、「経常増減差額率」が低かったため、長期の収益性、安定性に課題があるものの当面は問題ないとの評価でBの評価だった。C評価となる法人はなかった。この他、応募法人の租税の納付状況、雇用保険の加入状況、暴力団または構成員が法人内にいないことを確認した。

委員：C評価になるのは、どの程度なのか。

事務局：Cは経営上重大な課題があるという評価、例えば流動比率が100%を割り込むということは、当座の資金繰りに借入れを行う必要があることになるので、Cに近い評価が出るのではないかと。

委員：カテゴリーとは何か

事務局：横浜市内の社会福祉法人を5つのカテゴリーに分けた。介護保険事業のみ経営する法人・障害者事業のみ経営する法人・複数事業を経営する法人・社会福祉施設を経営しない法人・その他の法人に分けて、それぞれのカテゴリーの平均値をとった。

委員長：オブザーバーの見解はいかがか。

オブザーバー：事前に資料確認し、分析したが問題はない。

4 ヒアリング・審査

(1)並木地域ケアプラザ（社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会）

ア プレゼンテーション（20分）

イ 質疑応答（15分）

委員：今期、力を入れてきたことは何か？

応募法人：今期は地域支援に力を入れた。地区社会福祉協議会（以下、地区社協）、地域の団体、関係機関とのつながり作りに力を入れた。

委員：地域支援はもともと法人としてやるべきことだったが、いままでできていなかったのか。

	<p>応募法人：今までもやってきたが、地域の状況が変わっていく中で、計画的に取り組んできた。</p> <p>委員：計画が重要なのか。地域に目を配ることが重要なのか。</p> <p>応募法人：身近な地域で個別に関わることが重要である。個別の課題を抱えた方を地域で支えていく仕組みづくりが必要と考える。地域ケアプラザに寄せられる個別の課題をベースにして、共通の課題を地域の課題と捉え、地域と共にどのように解決していくかを考えるようにしている。</p> <p>委員：地域福祉保健計画、区、市の福祉施策とどのようにつながっていくのか。今のプレゼンでは、法人独自の活動の印象が強かった。</p> <p>応募法人：金沢区地域福祉保健計画の推進に向け地域支援チームに参加している。今回は、時間の関係で触れなかったが、地域支援チームと連動して地域に関わっている。</p> <p>委員：今までケアプラザに来なかった人が、ウォーキングポイントのリーダーを使用するため来館するようになったと話があったが、具体的に何かアプローチはしているのか。</p> <p>応募法人：介護予防の事業のチラシを配ったりしている段階。今後は、対象の方が興味を持つような事業を検討していきたい。</p> <p>委員：並木地域ケアプラザの立地条件的に大災害が発生した際、津波の影響が想定される。利用者をどのように避難誘導をするのか。併設する障害者施設との連携を含めた具体的なマニュアルはできているのか。また、地域で暮らす高齢者、障害者は今後も増えてくる、ボランティアの育成等、具体的な事業や成果について説明してほしい。</p> <p>応募法人：災害対策については、近隣の団地の自治会の協力を得て、実際の利用者を想定して移送する訓練をする予定。ボランティアの育成については構想だが、地区社協、金沢区社会福祉協議会（以下、区社協）と連携して地域の中でボランティアの育成ができないかと考えている。</p> <p>委員：避難の経路なども決まっているのか。</p> <p>応募法人：決まっている。</p> <p>委員：併設の障害者施設とは合同で行うのか。</p> <p>応募法人：今回は、ケアプラザのみ。</p> <p>委員：富岡東地域ケアプラザとエリアはどのように分かれているのか。</p> <p>応募法人：概ね並木1丁目が、並木地域ケアプラザが担当している。並木2丁目、3丁目は富岡東地域ケアプラザが担当している。</p> <p>委員：対象の地区社協は</p> <p>応募法人：金沢シーサイドタウン地区社協、富岡第一地区社協。</p> <p>委員：地区社協との連携は</p> <p>応募法人：各地区社協の活動に参加している。一部事業では、協働で事業に取り</p>
--	---

組んでいる。

委員：包括支援センターの職員が病気で休んでいると聞いたが大丈夫なのか。

応募法人：地域交流コーディネーターが病気で休んでいる。法人全体では、他と比較して少ない比率だが、地域交流コーディネーターが続けて病気で休んでしまっており、地域の方にはご迷惑をかけている。今後は、このようなことがないようにしていきたい。

委員：ケアプラザの人事は、法人として行っているのか。

応募法人：そのとおり

委員：リスク分析のツールは

応募法人：リスクの分析のツールはないが、事故については法人内で共有している。ヒヤリハットについてもヒヤリハットの検討委員会を設けている。職員会議内でも他施設の情報を共有している。

委員：検討は分析ではない。分析したうえでどういうリスクがあるかを検証し、対応策を検討することまでが一般的なリスク分析だが、それを行っていないということか。

応募法人：事故の第1報は法人本部に届く。職場の中で、事故の原因と今後の対応策について検討したものを報告させている。法人として、事故について集計したものを各ケアプラザに提供している。

委員：検討と共有は分析とは言わない。分析という言葉は使わない方がいい。

委員：BCPについて、作っているのか

応募法人：ケアプラザ所長会と、職員の検討会で検討して作成した。

委員：適切な形式になっているかなど検証しているのか

応募法人：検証については、これから行う。

(2)西金沢地域ケアプラザ（社会福祉法人 昴）

ア プレゼンテーション（20分）

イ 質疑応答（15分）

委員：地域活動において、ニーズ把握のためにどのような取組をどのくらいの頻度で行っているか。その結果、事業に繋がったのか。
また、ケアマネージャーを総括する職員の役割について説明して欲しい。

応募法人：毎月1回、子育て連絡会を実施。釜利谷地域の子ども的人数などを主任児童委員、区役所職員と共有している。釜利谷地域ケアプラザと合同で講演会を行ったり、ケアプラザ内で子ども関係の事業を運営している。来年度に向けては、親子体操、フリースペース、講演会などを計画している。

ケアマネージャー支援については、主任ケアマネージャーを中心に活動している。

	<p>委員：ケアマネージャー同士の情報交換等はできているのか。</p> <p>応募法人：最低週1回は情報交換の時間を設けている。</p> <p>委員：法人として、他にケアプラザの管理運営を受託しているのか。</p> <p>応募法人：西金沢のみ。</p> <p>委員：今後、応募する予定あるのか。</p> <p>応募法人：機会があれば考えたい。</p> <p>委員：釜利谷地域ケアプラザとの連携はどのように行っているのか。</p> <p>応募法人：地域ケア会議については年4回共催で行っている。認知症サポーター養成講座についても、共催で行った。</p> <p>委員：職員の配置、育成について具体的に伺いたい。</p> <p>応募法人：役職者の育成については、法人内部で研修等行っている。4事業4施設で内部異動なども含めて行っている。</p> <p>委員：平均勤続年数6.2年は、職員か。</p> <p>応募法人：そのとおり</p> <p>委員：管理職になるのに何年くらいかかるのか。</p> <p>応募法人：半年に1回人事考課を行っている。早ければ2年くらいで管理職になる職員もいる。</p> <p>委員：地域の交流の場とケアプラザの連携は。</p> <p>応募法人：エリア内に5町内会。各町内会のサロンなどの活動に地域包括支援センター（以下、包括）職員が出向いて、体力測定、各種講話など行っている。</p> <p>委員：外国人介護福祉士の受入について説明して欲しい。</p> <p>応募法人：EPA（経済連携協定）に基づき、フィリピン人介護士を3名受け入れた。一昨年の国家試験で1名合格し現在も就労中。昨年度からベトナム人介護士候補生を受入れている。候補生は、コミュニケーション能力が高く、他の職員も刺激を受けている。</p> <p>委員：高齢化率の高い地域、地域づくりのためにケアプラザとして取り組んでいることはなにか。</p> <p>応募法人：地域の中からは、認知症に関する勉強会または講演会の要望を受けている。また、関東学院大学とも連携して地域向けに認知症サポーター養成講座を行うなど次年度以降に向けて検討していく。</p> <p>委員：調理室の予約が取りにくいとの声を受けて貸館の方法を変更したと書かれていたが、何を変更したのか、成果はあったのか教えて欲しい。</p> <p>応募法人：従前は、音や匂いの影響を考慮して多目的室と調理室を一体的に貸出していた。今回、地域住民の要望でそれぞれの部屋を分けて貸出することにした。稼働率は、下がったが利用者数は増えている。</p> <p>委員：地域の障害者に対する取組で発達障害の小中学生に個別指導等を行っているが、何人位登録しているのか。</p>
--	---

応募法人：8人登録。ボランティアがやや不足気味。以前は平日にやっていたが土曜日に変更したところ、参加者が増えた。今後は、学習支援以外の行事や夏休みなども企画したい。

委員：ケアプラザは高齢者に関してはノウハウを持っている。若い障害児者に対する取組は分かったが、今後は、高齢の障害者等に対して、どのように取り組んでいくのか。

応募法人：障害もいろいろあるが、現在は中途障害の団体が貸館登録している。引き続き、障害者についても支援していきたい。

(3)六浦地域ケアプラザ（社会福祉法人 恩賜財団済生会神奈川県支部）

ア プレゼンテーション（20分）

イ 質疑応答（15分）

委員：子育て支援の関係で柳町地域ケアプラザとエリアが重なる部分について、どのように連携しているのか。

また、居宅介護支援に関して、ケアマネージャー業務の管理をどのように行っているのか。事業所にはどのような支援をしているのか。

さらに、地域福祉保健計画における地域ケアプラザの役割について聞きたい。

応募法人：六浦地域ケアプラザのエリアを分割する形で柳町地域ケアプラザができた。子育てに関する事業に関しては、明確なエリア分けはしていない。自然な形で棲み分けができればと考えている。当面は一緒にやればと考えている。

居宅介護支援事業所の管理者は8月に交代したばかり、ケアプラザ内でも定期的にカンファレンスを通じて指導していきたい。事業所の指導についても併せて行っていきたい。

地域福祉保健計画の策定に関する会議等には、地域交流コーディネーターが代表で参加している。コーディネーターはケアプラザの代表として出席しているので、施設内では、会議に出席できるように配慮している。

委員：今後どのようなネットワーク構築に力を入れていくのか。また、区内にある同法人のケアプラザとの連携について伺いたい。

応募法人：民生委員、保健活動推進員など、地域で活動している方と「顔の見える関係」を進め「こころの見える関係」を進めていきたい。

毎月、連絡会議を行い情報の共有を図っている。同法人の病院などとも連携をしながら医療と介護の連携について検討している。

委員：日中と夜間で特別避難場所の開設までの流れが異なると思うが、マニュアルは別々に作っているのか。

応募法人：分けて作ってはいない。

委員：日中に災害が起きた場合、デイサービスの利用者の対応や、地域住民が避難してくることが予想され、特別避難場所の開所が難しいことが予想されるが、そのあたりの考慮はされているのか。

応募法人：今、あるのは一般的なマニュアル。昨年、大雨の際、連合の会長から避難所の開設の相談を受けた。当施設は、地区センターと合築なので地区センターで避難者を受入れた。マニュアルは、事務所の職員以外でも見られるように保管している。

今頂いた意見も含めて、今後充実させていきたい。

委員：AEDを操作できる職員は、どのくらいいるのか。

応募法人：基本的には全員。毎年、訓練をしている。

委員：研修時間を勤務時間の対象としているとはどういう意味か。

応募法人：研修は有給で1時間以内としている。

(4)泥亀地域ケアプラザ（社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会）

ア プレゼンテーション（20分）

イ 質疑応答（15分）

委員：居宅介護のサービスを複数持っているが、中立性を維持するためにケアプラザで取り組んでいることはあるか。

応募法人：受けた介護保険の相談については、エリア内の居宅介護支援事業所の振り分け表を作成し、順番に振り分けている。また、内部監査を実施し、本部職員が振り分けについて確認している。

委員：サービス向上課は、いつ頃からできたのか。

応募法人：課としては数年前に独立した。内容は、利用者からの相談対応、職員からの相談対応。必要に応じて、第三者委員会にかけている。

委員：お客さまからの声で99%の方が満足とあるが、資料のグラフとは一致しないがなぜか。

応募法人：アンケートの「満足」と「どちらかと言えば満足」を足した数。

委員：アンケートは利用者の何パーセントの回答があったのか。

応募法人：デイサービス利用者の6割から7割。

委員：地域の担い手の育成について、配食サービスの立ち上げ以外に実績はあるのか。

応募法人：活動の場に出向く中で、中心メンバーになりそうな方と関係を形成していくようにしている。

委員：複合施設で、災害時の役割分担マニュアルの作成はどのように行っているのか。

応募法人：いきいき金沢連絡会を月1回開催。各施設との情報共有を図っている。

	<p>年 2 回全館避難訓練を実施。当日、貸室等で利用している団体も含めて訓練を実施している。</p> <p>委員：日中に災害が起きた場合、多くの利用者が想定される施設でどのような形で、特別避難場所を開設するのか。</p> <p>応募法人：区から示されたマニュアルを泥亀地域ケアプラザ版としてアレンジしている段階。</p> <p>委員：前回の災害の際、災害時に障害児者の避難場所として指定されていた施設に、一般住民が避難してしまい、障害児者の避難ができなかったと聞いている。対策は何かあるか。</p> <p>応募法人：いきいきセンター隣の八景小学校が防災拠点。いきいきセンターに来た方については、隣の八景小学校が防災拠点であることを説明し、そこに移ってもらうように話をする。所長又はケアプラザ職員が説明する。</p> <p>委員：障害者も地域で生活することが増えてきた。障害者は平均より 10 年程度認知症や老化が進みやすいと言われている。高齢者に関して様々な対応の経験のあるケアプラザのノウハウを地域に還元してもらうことは可能か。</p> <p>応募法人：今後、今の事業をさらに広げて行ければと考えている。成人の障害者の余暇支援事業も行っているが、他の事業と組み合わせることで相互に理解が深まればいいのではないか。</p> <p>委員：横浜市福祉サービス協会の受託している地域ケアプラザで女性の所長は何人いるのか。</p> <p>応募法人：男性の所長は 4～5 名、残りは女性。介護事業所の管理者も約 7 割が女性。</p> <p>5 審査結果</p> <p>ア 並木地域ケアプラザ 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 合計評点 1047.8 点（1400 点満点） 評点率 74.84% 最低基準 60%を上回っているため指定候補者とする。</p> <p>イ 西金沢地域ケアプラザ 社会福祉法人昴 合計評点 1028.6 点（1400 点満点） 評点率 73.47% 最低基準 60%を上回っているため指定候補者とする。</p> <p>ウ 六浦地域ケアプラザ 社会福祉法人恩賜財団済生会神奈川県支部 合計評点 1049.4 点（1400 点満点） 評点率 74.96% 最低基準 60%を上回っているため指定候補者とする。</p>
--	---

エ 泥亀地域ケアプラザ

社会福祉法人横浜市福祉サービス協会

合計評点 1055.8 点 (1400 点満点) 評点率 75.41%

最低基準 60%を上回っているため指定候補者とする。

委員長：今回の結果を踏まえ、上記 4 施設の次期指定管理候補者について区長に推薦する。

委員長：各指定管理者に対して伝えたいこと等ありますか。

ア 並木地域ケアプラザ

- ・並木地域ケアプラザのエリアはエレベータのない団地も多い。きめ細かく訪問してほしい。
- ・防災訓練は併設の障害者施設と一緒にいき、避難にかかる時間等課題も含めて対応してほしい。
- ・職員が病休の際は、代替職員を配置するなど、地域に影響が出ないように配慮してほしい。
- ・地域の中の拠点としての役割を発揮してほしい。

イ 西金沢地域ケアプラザ

- ・地域に出向くような活動の展開をより一層進めて欲しい。
- ・大学、消防署などと隣接している立地を活かした事業展開をしてほしい。
- ・エリアに小中一貫校があるので、連携して地域活動、防災活動に取り組んでほしい。

ウ 六浦地域ケアプラザ

- ・施設の中で、職員の業務の遂行状況を把握できる人材を育てて欲しい。公共サービスなので当たり外れがあってはいけないと思う。
- ・職員が体調を崩した際に、1 年以上代替職員が配置されていた。住民に直接影響があるので配慮してほしい。

エ 泥亀地域ケアプラザ

- ・区役所に近く、区社会福祉協議会も併設しているので区内のケアプラザの中心的な役割を担ってほしい。
- ・地域課題に応じた自主活動が発展的に行われるように繋げて欲しい。

オ 各施設共通

- ・特別避難場所の開所に向けての流れがどこの施設も不十分。いつオープンするか、どのようにオープンするかなど具体的に検討してほしい。マニュアル等もう少し細かく整備してほしい。
- ・ケアプラザ全体にも言えることだが、障害児者の余暇活動をやることがゴールではなく高齢分野等で培った介護技術や、認知症予防のノウハウを障害分野でも発揮してほしい。まずは、地域の障

	<p>害児者の把握・理解から始めて、事業等を展開して欲しい。障害児者に向けた情報の発信や、障害者に関する事業だけを分けるのではなく一般の事業と繋げた形で参加できるようにしてほしい。</p> <p>6 その他</p> <p>事務局より連絡事項</p> <p>石井事業企画担当係長より次のとおり説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回、平成 27 年 3 月 23 日（月）午後 1 時から委員会を開催する。まず 1 時から、金沢区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会を行う。 終了後、第 3 回金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会を行う。
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 2 回金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 次第 2 各法人応募書類 3 地域ケアプラザ事業実績評価（平成 23 年度～平成 25 年度） 4 横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員名簿 5 金沢区地域ケアプラザ等指定管理者の評価基準及び審査方法について 6 財務分析結果報告書